

憲法しんぶん 速報版

発行 憲法改悪阻止各界連絡会議（憲法会議）

Eメール mail@kenpoukaigi.gr.jp

ホームページ http://www.kenpoukaigi.gr.jp

TEL03-3261-9007

FAX03-3261-5453

2016年6月11日（土）

第632号 本号3頁

市民がつくる新しい政治！

市民連合が2回目のリレートーク

「安全保障法制の廃止と立憲主義の回復を求める市民連合（市民連合）」は、参院選の投票日まで1カ月となった6月10日、東京・千代田区区の全電通会館ホールでリレートークを行いました。参議院選挙にむけた決意が語り合われました。

リレートークでは大沢真理さん、広渡清吾さん（以上、安保関連法に反対する学者の会）、菱山南帆子さん（総がかり行動実行委員会）、町田ひろみさん（安保関連法に反対するママの会）、高野千春さん（SEALDs）、齊藤凜さん（SEALDsKANSAI）、岡歩美さん（SEALDsTOKAI）、中野晃一さん、青井未帆さん（以上、立憲デモクラシーの会）池田香代子さん（翻訳家）が、それぞれの立場から、参院選1人区での統一候補擁立の経過や経験を語るとともに、必ず勝利するために全力をあげようと訴えました。

竹内彰志弁護士が公選選挙法について解説し、SEALDsの千葉泰真さんが「市民が選挙を変える」と題して、画像でアメリカの選挙の様子も紹介し、参院選勝利の決意を語りました。

山口二郎法政大学教授（立憲デモクラシーの会）が、市民連合の活動の経過と参院選勝利のための方針を提起、福山真劫さん（総がかり行動実行委員会）が閉会のあいさつを述べました。

司会は佐藤学さん（安保関連法に反対する学者の会）と長尾詩子さん（安保関連法に反対するママの会）でした。

6・5全国総がかり行動 各地のとりくみ 続報

浜松市 200人参加で総がかり行動展開

浜松市中区では5日、「戦争させない!9条壊すな!浜松総がかり行動」が同実行委員会の主催で行われ、200人以上が参加しました。

集会で安保法制（戦争法）廃止、安倍政権打倒へ参加者が声を上げ、民進党、共産党、社民党の代表がつないだ手を高く掲げ、野党と市民が力を合わせ参院選に勝利しようと決意を固めました。

西部地区労連の嶋田博副議長は、「戦争法は自衛隊が海外にいくだけでなく、民間企業も武器・弾薬を運ぶことになる。看護師も戦場に行くことになる。全ての働く人、国民の命を守るため野党共闘で廃止にさせよう」と訴えました。ミナシス（みんなで選挙@静岡）の梶原謙一氏は「政治は特定の人のやるものと私も以前は遠くからみていたが、主権を独裁者に渡してはいけない。選挙に行って自分たちの権利を主張しよう」と呼びかけました。共産党、民進党、社民党の衆院議員や県議等の発言がありました。

その後、市内繁華街をデモ行進し、「戦争法は今すぐ廃止」「選挙に行こう」とコールして歩くと、あちこちでスマホで撮影される場面がありました。「9条守ろう」と一緒にコールする若い女性もいました。

香川 「戦争いやだから選挙に行こう」とデモ行進

香川県の「戦争いやだデモ」、「安保法制に反対するママの会」、「障害者患者9条の会」などは5日、総がかり行動に呼応して高松市内をデモ行進しました。

「私たちは戦争しない国をつくる」「みんなで選挙に行こう」と書いたのぼりを手に、「戦争はいやだから選挙に行こう」「学費が高いよ選挙に行こう」と唱和しながら歩き、訴えました。

市内の63歳の男性は「たなべ健一野党統一候補の勝利へ、私もできる限り支持を広げたい」と話しました。

北九州市 150人が街頭宣伝行動

北九州市の「平和をあきらめない北九州ネット」は5日、全国の総がかり行動に呼応する街頭宣伝活動を小倉駅前で行いました。「選挙に行こう」書いたプラカードなどを掲げ150人が参加しました。

政党からは民進党、共産党、社民党の代表や参院選候補が参加し、マイクで訴えました。日本共産党のしばた雅子福岡選挙区候補は「数の力で安倍政権が強行した戦争法を廃止する運動を広げつつ、1人区全てで野党統一候補を決めたのは、皆さんの大きな運動の成果です。この動きを参院選に生かしていきましょう」と述べ、共感の声が湧きました。

大分 「平和をめざすオールおおいた」駅前で宣伝行動

大分県内の戦争法廃止を求める市民、団体でつくる「平和をめざすオールおおいた」は5日、全国総がかり行動の一環として、大分駅前でビラを配り、同会として初めての街頭宣伝を行いました。学者や弁護士、市民ら約30人が参加しました。

県弁護士9条の会の宇都宮妙弁護士らが「このままでは憲法9条が壊され、国民が戦争に巻き込まれてしまいます。憲法と平和を守るため、参院選で与野党逆転を勝ち取りましょう」と訴えました。参加者は通行人に「平和を守ろう」「選挙に行こう」「安倍政権を退陣させよう」等と、語りかけながら、ビラを手渡しました。

ビラを受け取った子どもに、母親が「戦争、けんかはしてはいけないと書いてあるんだよ」と話していました。

埼玉・越谷 「立憲民主主義で語るくらしと政治」シンポ開催

「立憲民主主義で語るくらしと政治」をテーマにしたシンポジウムが6月3日、埼玉県越谷市で開催され、「憲法カフェ」「選挙カフェ」などを開く市民団体や弁護士、政党が議論しました。主催は「戦争法廃止!オール越谷市民アクション」。

政党からは日本共産党の伊藤岳参院埼玉選挙区候補、民進党の山川百合子県議、生活の党の松崎久元衆院議員が参加、発言しました。伊藤氏は「野党共闘の勝利で新しい政府をつくり、戦争法を廃止して立憲主義と民主主義を取り戻します」と力説。そして、3人区の埼玉選挙区では共産・民進の2議席確保が必要だと述べ、そのためには投票率を上げることが重要だと指摘し、「野党共闘が本気だということを有権者に見てもらい、安倍政治を倒す展望を示したい」と語りました。

山川氏も投票率の向上が必須だと述べました。松崎氏は、「野党勝利のため役割を果たす」と表明しました。

市民団体の代表は、市民に政治や選挙に関心を持ってもらうための工夫や悩みなどを語り、「政治に明確な意見がなくても、気になるという人はいる。分からないことを気軽に聞きに行ける場をつくるべきだ」などと交流しました。

当面の活動日程

4野党の党首がそろって初の街頭宣伝

日時＝6月19日(日) 10:45～

場所＝東京・有楽町イトシア前

※民進党・岡田代表、日本共産党・志位委員長、社民党・吉田党首、生活の党・小沢代表、市民連合代表が訴えます。国政選挙初のそろい踏みです。

怒りと悲しみの沖縄県民大会に呼応する いのちと平和のための6・19大行動

日時＝6月19日(日) 14:00～15:30

場所＝国会正門前

**共催：戦争させない9条壊すな！総がかり行動実行委員会
「止めよう！辺野古埋立て」国会包囲実行委員会**

大好評！！

『月刊憲法運動』、憲法しんぶん6月号

2016年5・3憲法集会を記録した『月刊憲法運動』6月号(通巻451号)が好評です。

同号には画期的な共同の2回目の集会となった今回の憲法集会での菅原文子さん、むのたけじさんらゲスト、政党代表(岡田克也民進党代表、志位和夫日本共産党委員長、吉田忠智社民党党首、小沢一郎生活の党と山本太郎となかまたち共同代表)のスピーチやあいさつなど全文を収録しています。

仲築間卓蔵さん(元日本テレビプロデューサー・マスコミ九条の会呼びかけ人)の論文「『覚悟』のときー『報道の自由』は私たちに何を教えるか」を掲載、巻頭コラム「憲法の眼」は浜林正夫一橋大学教授「税金避難所(タックス・ヘイヴン)」です。

同時発行の憲法しんぶん6月号(1面＝全国各地の5・3集会のとりくみなど、2面＝緊急事態条項改憲の本質、危険性についての論評)も好評です。

- 『月刊憲法運動』6月号は1部400円(税込価格、送料別＝70円)、多部数ご活用の場合は価格応談、憲法しんぶん6月号は1部30円(税込価格、送料別＝62円)、各1部同時申込の場合は送料70円となります。